

宍道湖の湖底地形と堆積層

三梨 昂*・後藤慎二*・大西郁夫*・高安克己*・徳岡隆夫*・渡辺正巳*
安間 恵**・松岡弘和**・中原昌樹**・水野篤行**・井内美郎****

Bottom topogrpahy and sediments in Lake Shinji

Takashi MITSUNASHI, Shinji Goto, Ikuo ONISHI
Katsumi TAKAYASU, Takao TOKUOKA, Masami WATANABE
Kei ANMA, Hirokazu MATSUOKA, Masaki NAKAHARA
Atsuyuki MIZUNO and Yoshio INOUCHI

I. はじめに

1985年度に文部省科学研究費補助金による「中海・宍道湖の環境変化に関する研究」(一般研究A, 課題番号60400009, 代表者三梨 昂)が採択され, その研究の一環として中海および宍道湖において音響探査をおこなってきた。85年度, 86年度の成果については, 山陰地域研究(自然環境)第2号(1985)「中海西南部の湖底地形と堆積層(概報)」, 第3号(1986)「中海の湖底地形と堆積層(続報)」として報告した。本報告は, これに続き1987年度に宍道湖でおこなった音響探査の調査結果についての内容ものである。湖底の堆積層の詳しい解析にはなお日時を要するので, ここでは一部を報告するにとどめる。本研究は島根大学を中心におこなったもの

- * 島根大学理学部地質学教室
- ** 川崎地質株式会社海洋調査部
- *** 山陰地域研究総合センター客員研究員
- **** 山陰地域研究総合センター客員研究員

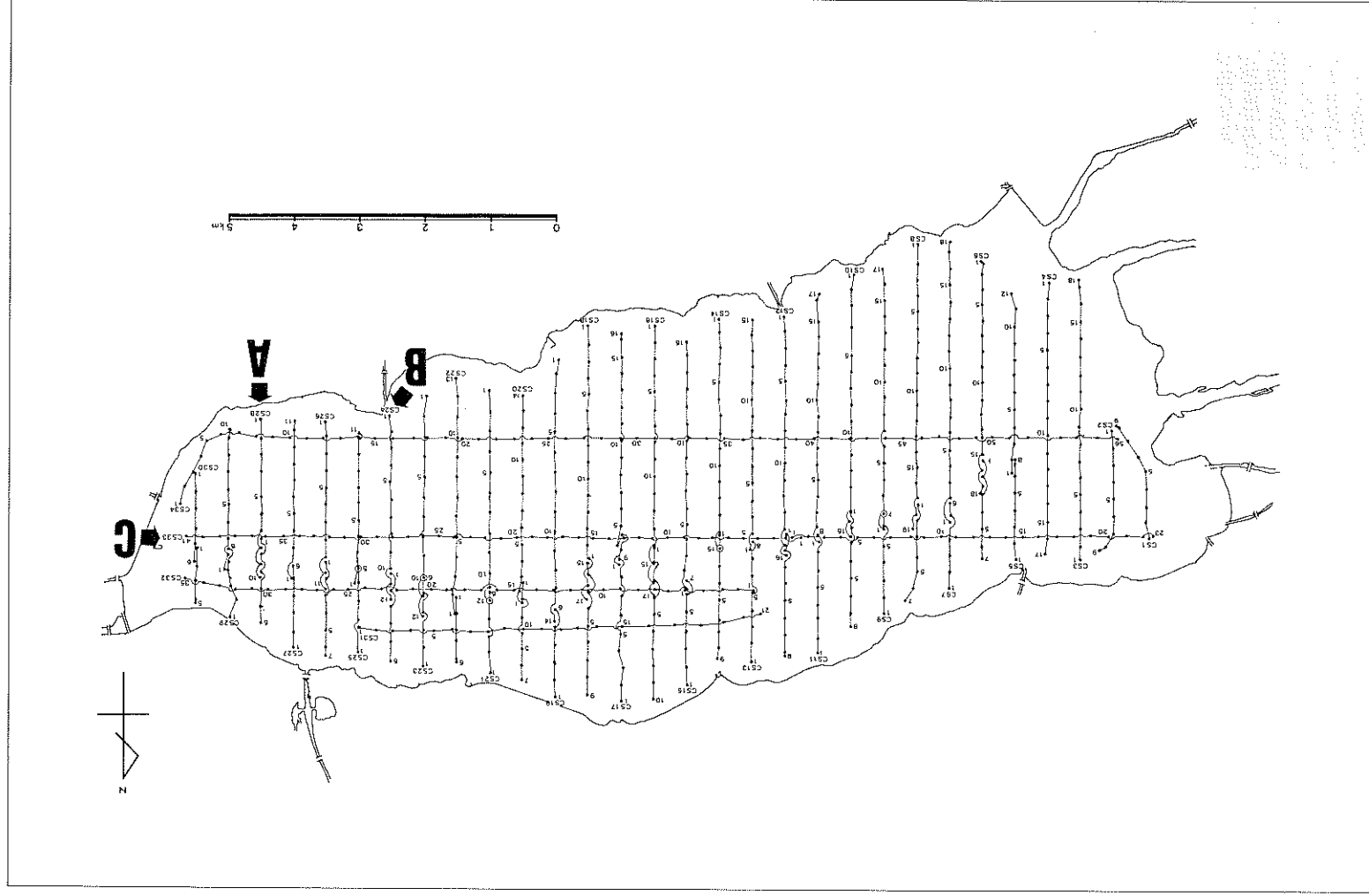
工業技術院地質調査所

II. 調査方法等

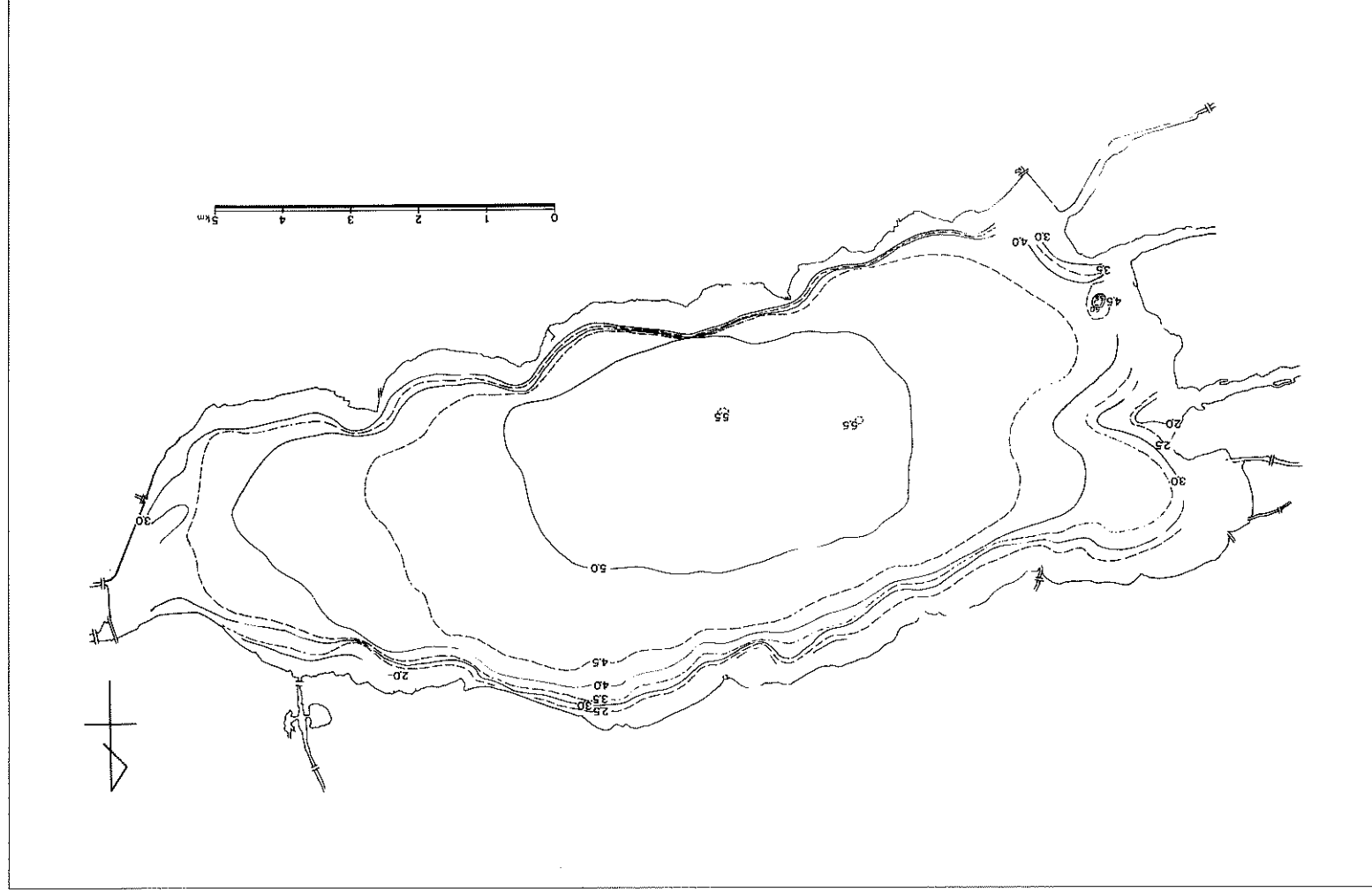
であるが, 工業技術院地質調査所と川崎地質株式会社との協力を得て, 共同研究としておこなったものである。使用した探査機器のすべては両機関の所有するものである。本研究には両機関の所有するものを使用し, 本機関にお礼参加することを許されたこれらの機関にお礼申しあげる。また調査船「八束丸」の使用にあたって便宜をはかっていただいた民主工業造船所および井川喜代志船長, 宍道湖の桟橋記録の提供をうけた建設省出雲工事事務所, として電波測位機トライアスボーターの従属の設置場所を提供してくださったニューアープンホテル松江, 国民宿舎「一畑薬師会館」, ホテル宍道湖, 国民宿舎「鳥ヶ崎」, レークサイドはしもお礼申しあげる。島根大学教育学部木下直美, 松山和也君, 島根大学理学部地質学教室の藤江信哉, 梶田秀見, 熊井克己, 日下智博君には調査に協力していただいた。これらの方々にお礼申しあげる。

調査は1987年8月4~10日(うち5日および8日は海況により中止)に, 民主工業造船所所有の八束丸でおこなった。船位の決

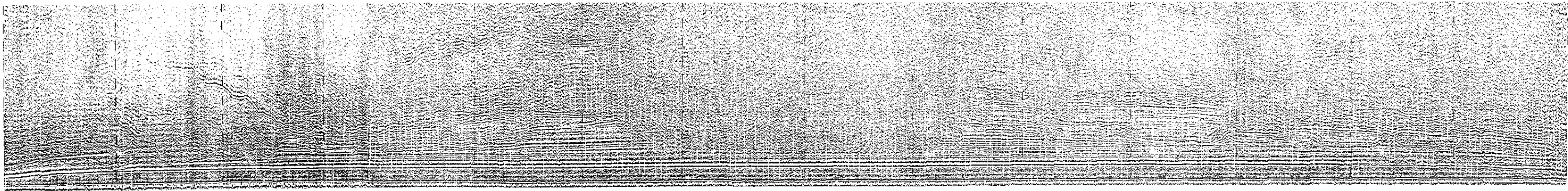
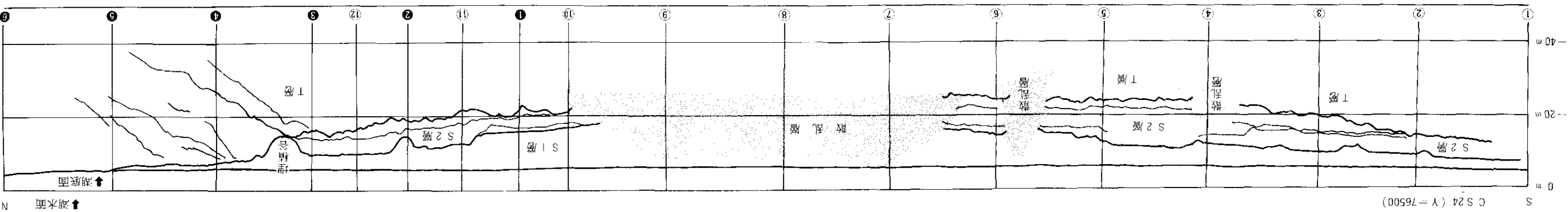
第1区調査測線



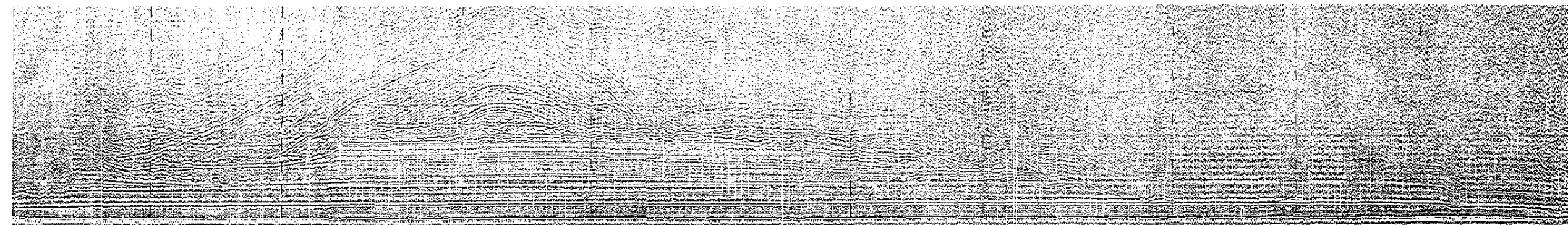
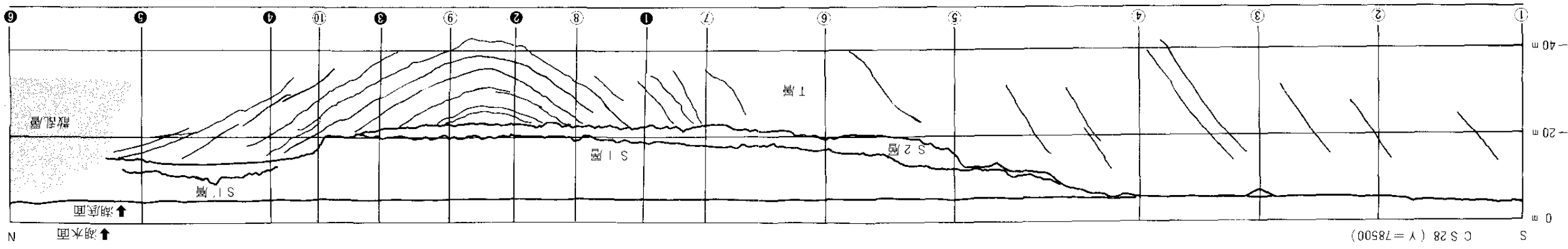
第2図 湖底地形図 (等深線の単位はメートル)



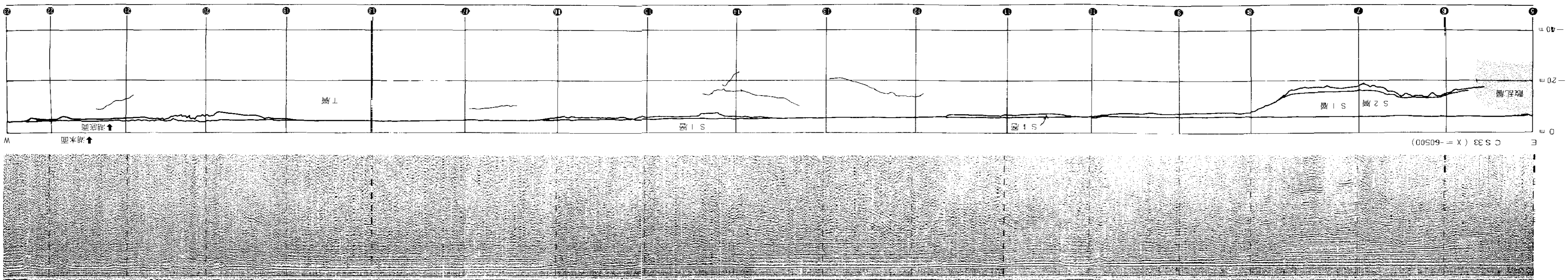
第3図 CS24(Y=76500) 湖線のユ=7.7-2.6による音響探査記録とその解釈図



第4図 CS28(Y=78500) 湖線のユ=7.7-2.6による音響探査記録とその解釈図



第7図 CS33(X=60500) 湖線西側 (5~28) の正ニフーエによる音響探査記録とその解釈図



第6図 CS33(X=60500) 湖線東側 (29~41) の正ニフーエによる音響探査記録とその解釈図

